

保護者様

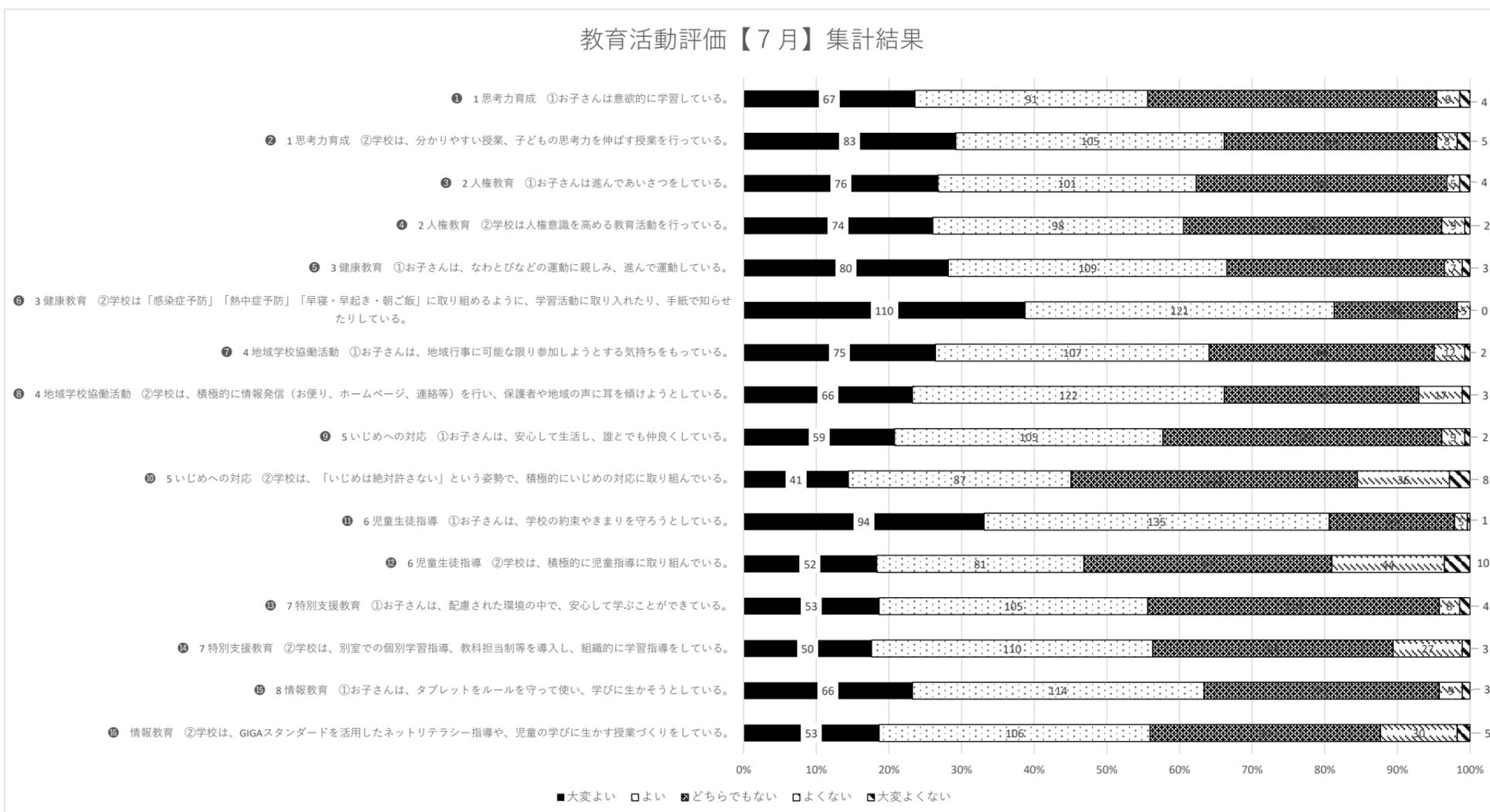
横浜市立都田小学校  
校長 今村 行道

### 教育活動評価（7月） 集計結果報告について

秋涼の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、7月にご協力いただいた「教育活動評価」の集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。本年度の評価項目については、令和4年度の中期学校経営方針を基本に作成し、QRコードやメール配信のリンクより、ご回答いただきました。そして、ご回答内容と、教職員による自己評価、子どもたちからの評価を合わせて分析し、PDCAサイクルを活用しながら今後の教育活動に生かしていけるよう検討を重ね、「集計結果」と【今後の取組について】にまとめました。

今後とも、学校教育目標である「はばたけ都田の子～元気・勇気・本気～」の具現化を目指して邁進していきますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



#### 【今後の取組について】

##### ○学力等(①②③④⑤⑥)について

学習への取組については、「たいへんよい」と「よい」を合わせたの評価を6割近くの方からいただきました。また、同じ項目について、子ども自身はより高い自己評価をしていました。引き続き、子どもが意欲的に学習できるよう、分かりやすい授業、思考力を伸ばす授業を目指して努力をまいります。

特別支援教育については、教室や体育館などの教育環境についてのご指摘をいただきました。感染症対策・熱中症対策をしながらも、子どもが授業に集中できるよう、ユニバーサルデザインの授業づくりの視点を持ち、学習活動に取り組んでまいります。また、本校の特色の一つでもあり、全学年で導入している教科担任制(交換授業)を生かして組織的な授業を展開し、風通しのよい学年経営、授業改善を目指していきます。

情報教育については、「たいへんよい」と「よい」を合わせたの評価を6割近くの方からいただき、タブレットを活用した授業を参観した方からは「子どもがタブレットを使いこなしている姿に感心した。」などの声をいただきました。今後もネットリテラシー指導の中で「情報モラル」を育み、子どもの学びに生かす授業づくりをまいります。

##### ○心と体育成等(③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑮⑯)について

コロナ禍において、「大きな声であいさつをすることに抵抗感がある」といったご意見がありました。積極的にあいさつをすることが難しい場面もありますが、あいさつは人と人をつなぐ大切な言葉です。今後もあいさつについては、登下校時に校門付近での教師によるあいさつ活動や児童会活動等における継続的な「あいさつ運動」を行い、よりよい人間関係づくり、いじめの起きにくい風土づくりにつなげていきます。

運動面については、「暑さの中で、マスクをとってもよいと言っている、マスクをして体育の授業をしている子どもが多いことが気になる」というご意見をいただきました。学校では、外で体を動かして遊ぶ子どもの姿が増えてきています。後期は、体力向上に向けて「なわとび運動」の推進を行い、継続的に体を動かす取組をしていきます。また、引き続き、体育の学習、登下校時にはマスクを外すこと、「感染症予防」「熱中症予防」「規則正しい生活習慣」「早寝・早起き・朝ご飯」に継続的に取り組むこと等を指導していきます。

いじめへの対応については「いじめは絶対に許さない」という姿勢を学校として示し、教職員が常にアンテナを高くして組織的な対応をしていくことの重要性を改めて認識しました。後期の人権週間では、本年度もいじめの未然防止に向け、いじめの起きにくい学級風土づくりや仲間づくりを全校で進め、自己有用感や自尊感情を高められるようにしていきます。また、児童指導については、一人ひとりの子どもが安心して過ごすことができるよう、スタンダードや学校の決まりを今一度見直し、日々の学習活動や生活の中でどの教職員も同じ指導ができるよう努めていきます。